

シリーズ『日本人と刀』⑤(最終回)

～シリーズ最終回は、鑑賞時の刀の取扱い作法で締めくくります (大剣連監事 山本茂伸)

7. 刀にまつわる諺

日本語には刀にまつわる諺が多数含まれている。このことは日本人にとって刀がいかに身近な存在であったかを物語っている。代表的な諺を挙げてみた。

- ①せっぱ(切羽)詰まる ②目抜き(目貫)通り
- ③しのぎ(鑓)を削る ④元の鞘に収まる
- ⑤ツバ(鐔)ぜりあい ⑥さや(鞘)当て
- ⑦折紙つき ⑧なまくら(鈍ら)

8. 刀の見方と鑑賞時の刀の取扱い作法

日本刀とは日本固有の方法で作られた刀剣の総称であり、「折れず、曲がらず、よく切れる」といった武器としての機能性に加え、美術性、精神性を備えた芸術品でもあります。また、「刀の歴史」で説明したように日本刀は各時代・生産地・生産者によって異なり、その姿や形、造込(つくりこみ)、地鉄(じがね)、地肌(じはだ)、刃文(はもん)、匂口(においぐち)、帽子(ぼうし)に特徴が現れています。

刀を鑑賞する際には、刀を傷つけることのないよう下記の点に十分に注意しながら、その刀の持つ特徴を十分に把握し、刀本来が持つ「人の心を魅了する美しさ」をご堪能いただければ幸いです。

<事前の注意点>

1. 周りを見て刀を抜いても安全であることを確認する。
2. 鑑賞中は唾で刀身が錆びないよう喋らない。念のため、果物・ジュース類は近くに置かない。
3. 鑑賞時、刀身を支えるために使用する袱紗やネル生地は、刀身の峰にほんの少しあてるだけのあくまで補助的なものであり、決して拭いたりこすったりしない。

<作法・鑑賞時の留意点>

1. 刀に対し軽く一礼し、刀と所有者に対し感謝の念を表明する。
2. 刀を抜く時は膝に置き、刃を上にして棟を鞘に密着させ、刃が鞘に触れないように、ゆっくり静かに抜き切る。中途半端に止めてはならない。また、近くの人に刃を向けよう十分に注意する。刀を納めるときはまず刃先を鯉口に入れ、抜く時と同じ手順でゆっくりと滑らせるように鞘に納める。
3. 右手で柄を握り、右手を伸ばし、刀を垂直に立てて刀全体の姿をみる。このとき刃先は左側におく。つまり刀の表側を自分に向ける。

4. 地肌、地鉄の状態を鑑賞し、刃文、匂口の状態をつぶさにみる。地肌では映り(うつり)の有無を確認し、あれば乱(みだれ)状態か棒(ぼう)状態かを見る。また地肌は柾目肌の有無を確認し、柾目肌があれば、それが「刃寄り」か「鎗地」か「棟寄り」かを区別する。刃文をみたときは匂口の深さと叢(むら)の有無をみる。叢があれば決して一流刀工の作、名作ではないといえる。「帽子」は直ぐ状態であるか乱れ状であるかをみる。

5. 以上の手順を経て、古刀か新刀かを見極める。古刀ならば「五ヶ傳」でいうどの国の系統のものなのか、時代はいつなのか等を推測し、流派・刀工を推定する。新刀ならば山城の京・摂津の大阪・武蔵の江戸・肥前の佐賀・薩摩の鹿児島・越前の福井・加賀の金沢が主要七都市で、その代表的な刀工を推定する。

※国宝・重要文化財における刀剣数について

下記の通り、国宝では総数の約10%、工芸品では約43%が刀剣類で占められている。

	総数	工芸品(内刀剣)
国宝	1,116	253(110)
重文	13,232	2,500(690)

※古刀・新刀の見分け方ポイント

①反り、②地肌(鍛え肌)、③刃文、④重量

古刀：反りが深く、地鉄の鍛え肌のはっきり見え、刃文が小さく、手に取って重量が軽く感じられる。新刀：反りが浅く、ちょっと目には地鉄の鍛え肌の模様が見えず綺麗であり、刃文が大きく、手に取って重量が重く感じられる。

※「五ヶ傳(ごかでん)鑑定法」

古刀の鑑定に際しては、明治末期から大正時代初頭にかけて本阿弥光遜(こうそん)が師・本阿弥琳雅(りんが)と共に編み出した「五ヶ傳鑑定法」が基本となる。これは徳川時代に刀剣の鑑定と研磨を生業にしてきた本阿弥家の秘伝・口伝とされた各時代の刀工各々の特徴を整理体系化して作り上げたものである(完成版：昭和30年発刊「日本刀の掟と特徴」)。

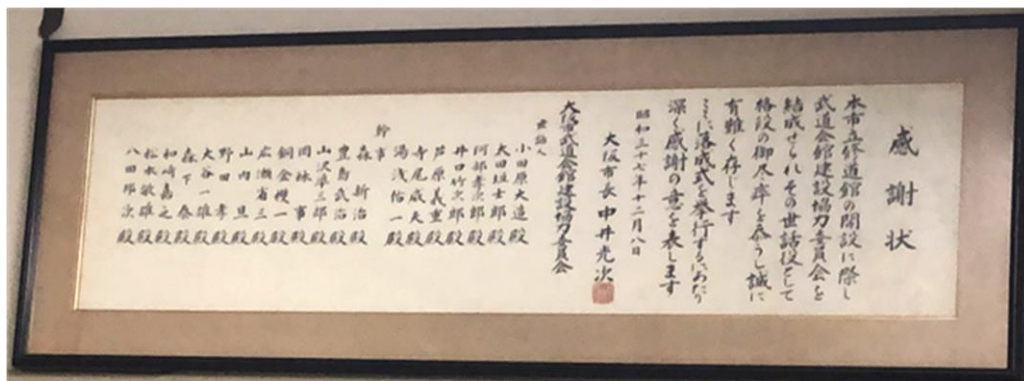
「五ヶ傳」とは古刀期に「大和・山城・備前・相模・美濃」で作られた刀を基準としたもので、これらを「本場物」と呼び、それ以外の国で作られたものを場違物(ばちがいもの)としている。この鑑定法は無名を極めるときにはなくてはならないものである。

<完>

「掲額を訪ねて」シリーズ その5

道場に掲げられている、指導理念を語る額を訪ねる企画です。
シリーズその5は大阪の剣道界を支える修道館をお訪ねしました。
皆さんの道場からの持ち込み企画、大歓迎です！

皆様おなじみの修道館は昭和37年（1962年）2月1日起工、12月8日完成、翌年1月4日開館しました。クボタ道場の取材対応で資料を整理していて、修道館の応接室に掲げられている額を思い出しました。こんな額が掲げられています。修道館に行ったらぜひご覧ください。



（参考までに）

当時の物価水準を比較。厚生労働省の統計によれば、大卒初任給は昭和37年当時が19,000円、2019年には210,200円、**約11倍**になります。

（以下、修道館のホームページから紹介）

「設立の目的」は

『柔道、剣道、なぎなた、弓道その他武道の普及振興を図り、青少年の健全な育成及び市民の健全な心身の発達に寄与する。』

修道館は、各学校や各道場の練習生がより高度な技術を求めたときの受け皿として、誰でもが練習したいと思ったときに予約無しで利用できる武道の錬成道場として昭和38年に設立。

当時の中井市長は「よく道を修め、身体を練り、魂を鍛えよ」と若人への期待と祈りを込めて、この武道館に『修道館』の名を贈った。

「設立の経緯」は

大阪城二の丸および西の丸にあった「近畿管区警察学校」が堺市へ移転するに際し、大阪中学校体育連合が、西の丸にあった警察学校道場を青少年の錬成道場として残すよう、大阪市や柔道・剣道関係者、財界の人々に協力を呼びかけた。

大阪市では関係者と協議を重ねた結果、現存道場を残すのではなく、武道館を新しく建設する方針を決定。それを受けて財界は「大阪市立武道会館建設協力委員会」を結成し、寄付金の募集を開始。

その結果、「大阪市」と「大阪市立武道会館建設協力委員会」は、それぞれ6千万円を分担し、合計1億2千万円で建設する事を決定した。

昭和37年(1962年)といえば、ビートルズが来日し、1964年にはアジアで初めての（前回の）東京オリンピックが開催され、1970年には大阪で万国博覧会が開かれています。まさに高度成長期の真っただ中でした。経済界も文武両道を修めた有為の人材を求めて、官民一致の下、その拠点の建設に協力したのでしょうか。なにか町人文化の息づく大阪らしいですね。

そして感謝状が

中井光次当時の大阪市長から武道会館建設協力委員会世話人等に贈られています。

小田原大造	久保田鉄工社長、大阪商工会議所会頭
太田垣士郎	京阪神急行社長→関西電力社長
阿部孝次郎	東洋紡績会長、関経連会長
井口竹次郎	大阪ガス会長
芦原義重	関西電力社長
寺尾威夫	大和銀行頭取
湯浅佑一	湯浅電池社長
野田孝	阪急百貨店社長
大谷一雄	住友化学社長
森下泰	森下仁丹社長
和崎嘉之	朝日の記者を経て関西国際協会



他、当時の財界のそうそうたるメンバーが名を連ねています。

今は手狭になった修道館の建て替えができればと思う今日この頃です。

（文責 かわら版編集 WG）

皆で盛り上げる「活動だより」～気軽に投稿してください

R4.4 月の号外でご紹介した 岸和田市市政施行 100 周年記念協賛事業

岸和田市民道場 心技館剣道部から「実録岸和田合戦絵巻」の実施報告が届きました
桜花舞い散る春の一日、TV 取材もあり、郷土の歴史を皆で体現する、楽しい催しになりました。

実施主体 岸和田市民道場心技館剣道部
実施時期 令和 4 年 4 月 10 日（日）
午後 2 時から午後 4 時 30 分
実施場所 岸和田城二の丸公園内
実施目的 岸和田市市制施行 100 周年を記念し、岸和田市の象徴である岸和田城に焦点を当て、**南町の天性寺に伝わる蛸地蔵物語（岸和田合戦絵巻）**を題材に**市民道場心技館剣道部員が企画・実施・演出し、市内 11 中学校剣道部員が風船割野試合で合戦場面を展開する一大スペクタクル戦国絵巻**。本事業を通じて岸和田城の歴史的役割・意義についての見識を深め、さらに他市には無い城下町岸和田市としての歴史と伝統を再認識し、郷土への愛着を深め、観光都市岸和田の創造を目指す。



あらすじ

江戸時代以前の戦国期、織田信長が倒れ、羽柴秀吉が天下統一を目指して動き始めた頃、現在の貝塚市域までは紀州根来、雑賀衆の勢力圏でありました。

秀吉は、そんな根来・雑賀勢力の抑えとして、大阪側最前線にある岸和田城主に中村一氏を据えます。中村一氏は明智光秀との天王山の戦い（山崎合戦）で目覚ましい働きをしており、泉南方面の防衛隊長として拔擢されます。

ときは天正 12 年（1584 年）春 3 月、天下の趨勢は未だ決まらず、羽柴秀吉と徳川家康との間に、事実上の天下の勢力図を確定する小牧・長久手の戦端が開かれました。秀吉は大軍を率いて大阪を出立、尾張目指して進軍します。秀吉の留守、好機到来とばかりに、根来・雑賀の一党が蜂起、大阪目指して進軍を始めます。当然、防衛拠点の最前線にあたる岸和田との間に戦端が開かれました。防衛に当たる岸和田軍 5,000 人に対し、最強の鉄

砲隊を要する根来・雑賀の精鋭部隊は 2 万とも 3 万ともいわれます。兵力、戦術共に当代随一の鉄砲隊を前に、岸和田防衛隊は苦戦を強いられます。歴史的史実として残る岸和田合戦絵巻です。

さて、この苦境を救ったのは、浜から突然現れた**観音菩薩と無数の蛸**だったという縁起が南町の天性寺に伝わっていますが、今回の岸和田合戦絵巻は、この物語を再現するものです。

ところで、蛸とはいったい誰であったのか？

興味津々です。もちろん蛸とは擬人化されています。氏名を明らかにしない強力な助っ人とはいったい誰か？私的に、オモシロおかしく空想するなら、私は岸和田藩お抱えの甲賀忍者隊であったと考えます。当時、100 人 200 人という規模で忍者部隊を雇用していたのは岸和田藩以外ありません。集団として戦力に加わった忍者隊なら最強を誇る鉄砲隊をも敵を散々苦しめた戦術が次々と生まれてきたと考えられるのですが・・・さて・・・さて？？？さて。真実や如何に？？？

合戦は、市内中学校剣道部員が紅白に分れ、防具の面に上に取り付けた風船を割り合い、勝敗を決める野試合形式で決します。



岸和田隊最後の勝利宣言は、**久米田高校太鼓部によるしまい太鼓に併せ、本物の鎧兜に身を固めた市長の発声で全員があげる勝ち鬨**です。

エイ、エイ、オー!! エイ、エイ、オー!!

（文責 岸和田市民道場 心技館 松端孝元）



かわら版の「令和3年度剣道文化講演会」記事が「剣窓」に掲載されました

全剣連と情報交換を密にしています。剣窓6月号32ページの「剣連だより」で大阪の文化講演会活動が紹介されました。「剣窓」は剣道界の情報をコンパクトにまとめた全剣連が発行する月刊情報誌です。是非ご購入ください。

＼(・▽・)／
ワイワイ



以下略

令和3年度大阪府剣道連盟
スポーツ安全委員会開催
大阪府剣道連盟
総務委員 北端浩三
最近特に、剣道・居合道・杖道に熱心に励まれておられる方々から膝痛に悩まれている話をよく聞くようになりました。この問題にどう対処すればよいのか。そして、より安全にスポーツを続けて行くために管理責任が問われる時代の指導者のリスク回避について、そして、コロナ禍の身体不活動問題について、現場の事例に精通された講師の先生方からお話を聞く機会を企画し、2月6日(日)大阪天満橋にある「エル・おおさか」で、昨年度と同様、コロナ禍の中、感染拡大防止のため、会場およびZOOMによる会場同時進行方式で、標記講演会を開催しました。

『道歌を訪ねて』～こんなシリーズを始めました

「道歌」とは、道を教える歌。ずいぶん古くからあったようですが、道の極意を簡潔に言い表し、七五調で覚えやすいところから「剣道道歌」をシリーズで取り上げてみることにしました。解説は濱口先生にお願いします。乞うご期待！！

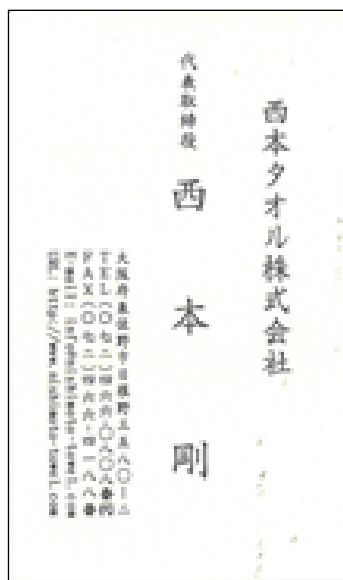
大剣連監事、山本茂伸先生のシリーズ「日本人と刀」で刀剣に関する知識や理解を深められたことと思います。その姿は優美さに加えて、気品に満ち然も折れず曲がらず、鉄をも両断する威力を有しています。

この日本刀にも比すべき威けく麗しい剣道を日本伝統文化として永く残し、日本人の修練の道としたい、という願いが込められています。

(大剣連副会長・全剣連理事 剣道教士八段 濱口雅行)

剣道は
鍛え上げたる 日本刀
気品に満ちて
威(た)けく 麗(うるは)し
剣道 居合道範士 羽賀忠利 作

～がんばっている皆さんを応援しています！！～



代表取締役
開田 早代
Hirakida Sayo
Mobil 090-4565-3888

開屋本舗
HIRAKIYAHONPO

食品加工・菓子製造業 真空減圧フライヤー加工 手巻き煎餅製造 食品粉碎加工 食品乾燥	キッチンカー・催事 キッチンカー営業 マルシェ出店 キッチンカーリース キッチンカー 出張デリバリー
--	---

Mottainai-Labo
(OEM受注)
新商品開発
小ロット対応
もったいないを
美味しさに

自社ブランド
coco-voage

開屋本舗株式会社
〒584-0021
大阪府富田市中野町1-205-1
TEL: 0721-21-1326
FAX: 0721-25-3773
E-Mail: hirakiyahonpo2@gmail.com

*** 編集後記 ***

コロナ禍の絆をつなぐ「おおさか剣道かわら版」も、早や15号。これも偏に皆様のご支援のお陰。投稿大歓迎、お気軽に企画をお持ち込みください。ただし、掲載するかどうかは編集長が決めます。ボツの場合はご容赦を。

E-mail:

info-shinsa@osa.kendo.or.jp
まで、WORD等の電子データでお送りください。